

平成24年度調査結果の概要及び結果に基づく学習活動や家庭学習の改善について

【小学校 国語】

<p>国語 A (知識)</p>	<p>成果や改善が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5学年までに学習した漢字を正しく読むこと。 ・目的に応じ、収集した情報を関係付けながら話し合うこと。 ・百科事典を読み、目的に応じて中心となる内容をとらえること。 <p>課題が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいを明確にして質問すること。 ・場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら音読すること。 ・目的や意図に応じ、必要となる事柄を整理して簡潔に書くこと。 	<p>国語 B (活用)</p>	<p>成果や改善が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会として収集した情報を捉え、まとまりごとに整理すること。 ・目的に応じ、雑誌や読んだ記事の特徴を捉えること。 <p>課題が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、内容の中心を明確にして書くこと。 ・資料を読み取った上で、質問をしたい内容を明確にして発表すること。 ・目的に応じ、雑誌や読んだ記事の特徴をとらえること。 ・複数の記事を結び付けながら読み、事実を基にして自分の考えをもつこと。
----------------------	---	----------------------	---



学校における学習活動の改善方策例

聞く・話す・書く，多様な言語活動を授業に位置付ける。

1時間で学んだことは何かが明確になるような振り返りを位置付け，積み重ねる。

- 聞く目的を明らかにしながら，集中して聞く姿勢を身に付けさせる。
- 話の要点や気付いたこと，疑問に思ったことなどをメモに取らせる。
- 低学年では自由な立場から，中学年以降は目的や立場を明確にした質問をさせる。
- 登場人物の心情の変化や場面の移り変わりを捉えさせて音読させる。
- 音読・朗読・群読を行い，表現性や創造性を求めるとともに，劇化などを行い，互いの声の出し方などについて，相互評価させる。
- 重文や複文などを複数の文に表させる。
- 主語・述語・修飾と被修飾などの関係や接続語や指示語などを繰り返し使わせる。
- 丁寧語，尊敬語，謙譲語を繰り返し指導し，相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに慣れさせる。
- 社会や算数等と関連させ，比較したり引用したりしながら，資料の読み取りをさせる。
- 説明文では，書き手が表した事例や論拠を明らかにしながら読ませる。
- 本時は何を学んだのか，振り返らせる。

学校の学習を生かした家庭学習の参考例

- 日常生活の中で思い浮かんだ自分の考えや，疑問などをノートに書きとめておきましょう。
- 物語を声に出して読んでみましょう。家の人や友だちと読み合ってみましょう。
- 「何(だれ)が，何(だれ)を，どうした」などの関係を意識して読みましょう。
- 新聞などの資料を基に，自分はどうか考えるか，その根拠は何かを明らかにする学習を積み重ねましょう。